

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 03 05	中期総合計画主要施策番号	1-02,1-08,2-04,5-06	担当課	部・課	林務部県産材利用推進室	
事業名	木育推進事業 (森林づくり県民税活用事業)				内 線	3273	
					E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H20 ~ H24	根拠法令等	木育推進事業実施要領				
実施方法	市町村及び林業者等が組織する団体等へ補助金を交付し実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	森林づくり県民税を活用し、里山等の身近な森林や森林資源を活用した、大人から子どもまで参加できる学習機会としての木育活動を推進するための支援を行い、健全な森林育成に対する意識の高揚を図るとともに地域に根差した心豊かな県民性を育む。				
	対 象	木育推進事業を実施する市町村及び林業者等が組織する団体等				
	目指すべき姿	里山等の身近な森林や森林資源を活用した、大人から子どもまで参加できる学習機会としての木育活動を推進するための支援を行い、健全な森林育成に対する意識の高揚を図るとともに地域に根差した心豊かな県民性を育む。 [平成24年度には実施箇所目標を累計50カ所とする]				
	事業内容	・県内全域で行う木育事業を支援する県域活動支援 (補助率:【県】1/2以内) ・地域で行う木育事業を支援する地域活動支援 (補助率:【県】10/10以内、資材の直接譲与)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・補助金:6,200千円 ・報償費:459千円 ・需用費:1,980千円
	最終予算額 (A)		千円	9,500	9,020	9,020	
	決 算 額 (B)		千円	9,107	8,639		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.05	0.05	0.05	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)	概算人件費 (C)	千円	416	413	413	
			千円	9,523	9,052	9,433	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 県域活動型では、木育コンテストに3,557点の木工作品が応募されるなど多くの皆さんに県産材に触れていただくことができた。 木育活動の()内は累積活動数 (効率指標算出式) 事業費のうち地域活動支援費/木育活動箇所数
	県域活動(木育コンテスト)(活)	件	1	1	1	
	木育活動(活)	箇所	25(69)	22(91)	23(114)	
	木育推進員による活動支援(活)	時間	133	148	148	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1木育活動あたり事業費	千円/箇所	300	339	326	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分
	地域住民や将来を担う子ども達に里山を始めとする森林や県産材への理解を深めてもらうために、継続的な取り組みが出来る木育活動に支援し、実施箇所目標を達成したため、23年度は前年度程度行う。		・H23年度には県域活動(木育コンテスト)を1回、木育活動を22箇所(88%)で実施した結果ほぼ期待どおりの結果を得た。 ・木育活動実施箇所数は累計で91箇所となった。				b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定・説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・県産材利用や森林整備等に対する理解が進んだ結果、木育事業に対する要望は増加している。 ・県産材の利用促進は、大人から次代を担う子どもまで参加できる学習環境の創出が重要であり、関係機関や地域住民と連携し、県で積極的に関与していく必要がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	継続的な活動を行い、県産材等を利用して大人から子どもまで多くの県民が参加しながら木や森林について学び、県産材の利用推進や健全な森林の育成に対する意識の高揚を図るとともに、地域に根差した心豊かな県民性を育むことが必要である。				
	特記事項					